

第 5 章

環境の保全と創造に協働して取り組みます

第 1 節 教育・学習を進めます

施策 1 環境情報の整備と活用

施策 2 学校・地域における環境教育・学習の推進

施策 3 地産地消と食育の推進

第 2 節 協働の体制づくりを進めます

施策 1 人材の発掘、育成とネットワーク化

施策 2 市民、事業者の環境保全行動の促進

第1節 教育・学習を進めます

施策1

環境情報の整備と活用

1. ごみ減量・リサイクルに関する説明会・懇談会等による啓発活動

多くの方に、ごみ減量やリサイクルについて関心をもってもらい、日々の生活の中で実践していただくことにより、循環型社会の形成を図ることを目的とし、ごみ減量・リサイクルに関する各種施策等についての説明会や懇親会を開催しています。また、市民からの要望に応じて講師として職員を派遣しています。

その他、市報・ホームページ・リサイクルおおいた・ごみ分別事典等でごみ減量・リサイクルの啓発を行っています。

2. イベントによる普及・啓発活動

広く市民に対して、ごみ減量・リサイクル運動への参加を呼びかけ、これらの運動が地球の資源と環境を守るために、いかに大切なことであるかを、各種イベントを通じて訴えています。6月の大分市環境展では、NPO法人や各種団体などと共同開催し、来場者にごみ減量・リサイクルの啓発を実施しました。

また、10月の生活文化展では、啓発ブースを設置するなかで、生ごみ減量事業の紹介や古着の無償提供などを実施しました。平成27年度の来場者は1,811人でした。

3. 大分エコライフプラザ

平成19年4月に大分市福宗環境センター内にリサイクルの啓発施設を併設し、フリーマーケットの開催など各種イベント等を通じて環境意識の高揚を図っています。

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎週月曜日

(ただし祝日の場合は翌日)

住所：大分市福宗 618 番地

電話番号：097-588-1410



大分エコライフプラザ

(1) フリーマーケット

毎月第1日曜日（午前10時～午後1時）個人やグループによる日用雑貨や衣類などのフリーマーケット（出店は無料）を開催しています。

(2) 再生家具、再生自転車の抽選会（無料）

毎月第1日曜日（1月は第2日曜日）午後0時30分から抽選会を行っています。

粗大ごみとして出された家具や自転車のうち、まだ使えるものや簡単な整備で使えるようになるものを無料（自転車の防犯登録料500円は実費）で譲渡しています。



フリーマーケット

(3) エコライフ体験教室

市民リサイクル体験工房では、ごみ減量活動の一環としてさまざまな体験教室を毎月開催しています。

「木工（キッチン小物）」「古布の小物づくり」「羊毛フェルトの小物づくり」「紙すき体験教室」「廃油キャンドルづくり」が行われています。

(4) 古着の引受け・引渡し

家庭で不用になった古着を無償にて引き受け、希望する方へ譲渡する「古着リユースコーナー」を設置しています。



施策2

学校・地域における環境教育・学習の推進

1. 環境月間行事

6月の環境月間中に大分市環境展や環境ポスター展を通じて、環境に関する理解と意識の高揚を図りました。

(1) 大分市環境展

- ① 開催日 平成27年6月6日
- ② 場所 ガレリア竹町ドーム広場
- ③ 内容 大分市環境保全活動団体、事業者等の協力のもと、市民一人ひとりの環境に配慮する意識の高揚を図るため、以下のイベントを実施しました。

- エコグッズの展示・作製
- 廃材での工作
- うちエコ診断の紹介
- 大分に生息している生物の展示
- 環境科学実験の実演
- 生ごみ処理容器（コンポスト等）の展示
- 汚泥リサイクル堆肥の無料配布(500袋)
- 緑のカーテンの苗やトイレトペーパー（再生紙）等と交換できるスタンプラリーの実施
- こども服リユース会
- ステージイベント
- 小中学生作成の環境ポスターの展示 等



大分市環境展



ブース出展

(2) 大分市環境ポスター展

- ① 開催期間 平成27年6月18日～6月30日
- ② 場 所 ホルトホール大分 1階 エントランスホール
- ③ 内 容 市内小中学生と中国の武漢市、広州市の小中学生から、環境問題をテーマとしたポスター130点の応募があり、展示した作品を通じて広く市民に啓発を行いました。また、受賞作品の表彰式を環境展で行いました。



ホルトホール大分にて展示



表彰式

(3) 環境ブックの「読み聞かせ」をしましょう！運動

- ① 実施期間 平成27年6月1日～30日 (環境月間中)
- ② 対 象 市内の幼児、児童、生徒
- ③ 目 的 子ども自らが環境問題に関心を持ち、学習し、将来にわたって環境問題について考えるきっかけづくりを目的としています。
- ④ 内 容 学校、図書館などで、子どもを対象とした環境関連図書の読み聞かせや紙芝居を行いました。
- ⑤ 結 果
 - 実施団体数 155 団体
 - 環境関連図書を集めたコーナーの設置箇所数 148 箇所
 - 環境に関する本の読み聞かせや紙芝居の実施回数 1,255 回
 - 対象者(幼児、児童、生徒等)の参加延べ人数 33,702 人

2. 環境講演会・地球温暖化対策出前授業

講演会や出前授業などを開催し、環境保全に対する市民意識の高揚を図りました。

(1) 環境講演会

地球温暖化対策おおいた市民会議と共催で講演会を行いました。

- ① 開催日 平成27年8月22日
- ② 場所 ホルトホール大分3階 大会議室
- ③ 出席者 154名
- ④ 講師 気象予報士 天達武史氏
- ⑤ テーマ「天達が見た地球温暖化」



(2) 地球温暖化対策出前授業

小学校4校、中学校2校において、市民会議委員が講師となり「大分市地球温暖化対策ガイドブック」を用いて「温暖化の仕組み」や「委員の取組」について講義する出前授業を行いました。



3. エコチャレンジ（日誌）

環境教育の一環として、「やってみよう！エコチャレンジ！」「エコチャレンジ日誌」の取り組みを12月の地球温暖化防止月間中に実施しました。

- (1) 実施期間 ○小学1～4年生 平成27年12月9日
○小学5～6年生、中学生 平成27年12月7日～13日
- (2) 内容 小学生26,986人、中学生14,065人を対象に、節電、節水などの省エネ行動を実施し、エコチャレンジ日誌の作成を呼びかけました。

(3) 実施結果

- ① エコチャレンジ日誌提出率

■小学1～4年生	73.3%
■小学5・6年生	53.7%
■中学生	74.0%
- ② チャレンジ結果から算定した二酸化炭素削減量

■小学5・6年生	12,507kg
■中学生	26,039kg

4. 環境を考慮した学校施設（エコスクール）の整備推進

(1) エコスクール整備促進の概要

地球規模の環境問題に対応するため、学校においても、環境負荷の低減や自然との共生を考慮した施設（エコスクール）を整備するとともに、未来を担う子供たちが環境問題を身近に感じられる工夫を行うことが重要となっています。

このため、本市の小・中学校の施設を改築又は新增築する際は、次の3つの事項に留意したエコスクールとしての施設整備に努めています。

- ① 施設面・・・やさしく造る
 - 学習空間・生活空間として健康で快適である
 - 環境への負荷を低減させる
- ② 運営面・・・賢く・永く使う
 - 耐久性やフレキシビリティに配慮する
 - 自然エネルギーを有効活用する
 - 無駄なく、効率よく使う
- ③ 教育面・・・学習に資する
 - 環境教育に活用する

(2) エコスクール整備促進の具体的方法

主に以下の方法によってエコスクールの整備推進を図っています。

- ① 太陽光発電型・・・屋上・屋根等に太陽光発電パネルを設置し、発電した電力を活用する。また、太陽光発電システムの表示パネルの設置により省エネ効果を可視化する。（資料編P132 資8-8 参照）
- ② 省エネルギー・省資源型
 - 省エネ型設備・・・省エネルギー型の照明器具等の導入を図る。
 - 雨水利用・・・建物の屋根から集めた雨水を貯水槽に貯め、校庭の散水等への利用を図る。
- ③ 自然共生型
 - 建物緑化・・・屋上の緑化等を行うことで自然との共生を考慮した施設とする。
- ④ 木材利用型
 - 地域材等の利用・・・内外装を木質化することにより健康で快適な学習・生活空間の実現を図る。

(3) 現在までの整備状況

本市では、以下の学校の施設についてエコスクールとしての整備を行い、国が行っている「エコスクールパイロット・モデル事業」の認定校としての指定を受けています。

認定校指定年度	学校名	事業内容
平成15年度	大在西小学校	新築 (H16年度完成)
平成17年度	王子中学校	体育館改築 (H17年度完成)
平成18年度	上野ヶ丘中学校	校舎改築 (H19年度完成)
	神崎中学校	校舎改築 (H19年度完成)
平成19年度	松岡小学校	校舎増築 (H20年度完成)
平成20年度	佐賀関小学校	体育館改築 (H20年度完成)
	佐賀関中学校	体育館改築 (H20年度完成)
平成21年度	大在中学校	校舎増築 (H22年度完成)
平成22年度	大道小学校	校舎改築 (H23年度完成)
	坂ノ市小学校	校舎改築 (H23年度完成)
	滝尾中学校	校舎増築 (H23年度完成)
平成23年度	荷揚町小学校	体育館改築 (H23年度完成)
	南大分小学校	校舎・体育館改築 (H24年度完成)
平成24年度	春日町小学校	校舎改築 (H25年度完成)
平成25年度	鶴崎小学校	校舎改築 (H26年度完成)
平成26年度	敷戸小学校はばたき分校	新築 (H26年度完成)
	植田東中学校はばたき分校	新築 (H26年度完成)
	大在小学校	校舎改築 (H27年度完成)
平成27年度	碩田学園	新設 (H28年度完成予定)

施策3

地産地消と食育の推進

1. 大分市地産地消促進計画（第2期）

平成25年3月に、地産地消活動に関係する消費者、生産者、食品関連事業者や関係機関・団体等が協働で取り組むための新たな行動指針として、「大分市地産地消促進計画（第2期）」を策定しました。本計画は、『「農」と「食」の強い結びつきが築く、持続可能な活力あるおおいた』を基本理念としており、本計画に基づき地産地消に関する施策を総合的・計画的に推進しています。

また、本計画の推進と進行管理については、外部委員で構成される「大分市地産地消促進協議会」と庁内組織である「大分市地産地消促進会議」が連携し、取り組みを進めています。



第2節 協働の体制づくりを進めます

施策1

人材の発掘、育成とネットワーク化

1. 大分市環境保全活動功労団体表彰式・エコアクション21長期認証・登録事業者感謝状贈呈式

市民団体による環境保全活動を推進するため、平成25年度に「大分市環境保全活動功労団体表彰制度」を創設し、本市において特に優れた環境保全活動を行っている団体を表彰しています。平成27年度は、2団体（大分市地域婦人連合会、NPO法人岡原花咲かそう会）を表彰しました。

また、平成27年度は、新たに「エコアクション21長期認証・登録事業者感謝状贈呈式」を表彰式に合わせて行いました。これは、エコアクション21の認証・登録を長期にわたり受けている市内事業者の取組を広く市民に紹介するために行い、平成27年度は7事業者に感謝状を贈呈しました。



表彰式



表彰団体活動発表



感謝状贈呈式

株式会社エスプレス大分
株式会社カーポートタナカ
株式会社環境整備産業
三藤商事株式会社
日本フィルム株式会社
有限会社平山商会
有限会社富士モータース

感謝状贈呈事業者一覧

施策2

市民、事業者の環境保全行動の促進

1. こどもエコクラブ

こどもエコクラブは、子どもたちが誰でも参加（登録）できる環境活動のクラブです。子ども一人以上（メンバー）と活動を支える一人以上の大人（サポーター）がいれば、いつでもクラブをつくって登録することができます。登録した各クラブでは、地域に適した環境活動（自然観察、ごみ拾い、リサイクル等）を行っています。

年 度	登録数
21年度	9クラブ
22年度	9クラブ
23年度	8クラブ
24年度	10クラブ
25年度	11クラブ
26年度	9クラブ
27年度	12クラブ

2. きれいにしょうえおいた推進事業

平成16年度より、モデル事業として住民の方々にお住まいの地区の里親になってもらい、地域をきれいにしていただくというボランティア清掃活動を開始しました。

初年度は5団体を選定し、平成17年度からは全市域を対象に活動団体を公募し、日本一きれいなまちづくりを目指した活動を展開しています。

<対象となる団体>

すでに結成している団体や自治会、学校、会社、気のあう仲間同士で構成し、公共の場所を定期的に無償で清掃をする2名以上の団体です。

<活動の内容>

活動回数は年6回以上とし、申請時に登録した活動区域内の空き缶や吸殻などの散乱ごみの清掃活動を行います。

<市の支援>

活動を行うにあたり必要な物品は市が貸与・支給します。

貸与物品・・・ほうき、火バサミ、ちりとり

支給物品・・・軍手、帽子、ごみ袋

	年 度						合 計
	～H22	H23	H24	H25	H26	H27	
登録団体数	204団体	21団体	10団体	14団体	16団体	10団体	275団体
登録者数	4,862人	453人	234人	505人	239人	288人	6,581人

実活動数	209団体	6,239人
------	-------	--------

(平成28年3月31日現在)

3. 大分市ごみ拾いパートナー登録制度

地域の環境美化に取り組む方のために、平成26年4月から大分市ごみ拾いパートナー登録制度を開始しました。

この制度に登録し、大分市内の公共の場所において、ボランティアで清掃する個人または団体に対し、収集したごみを「ごみステーションに排出する場合」や「ごみ処理施設に直接持ち込む場合」に使用できるボランティア専用袋を交付しています。

平成28年3月31日現在、登録団体数は498団体、10,400人となっています。